



半期開示

◆ INDEX

□ はじめに	1
□ 社会的責任と貢献活動	1
□ 主要勘定の状況	4
□ 損益の状況	4
□ 自己資本比率	4
□ 金融再生法開示債権	4
□ 有価証券等時価情報	5

◆はじめに

皆さまには、平素よりJ Aバンク山口信連をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

本年も、当会の平成24年9月期における財務情報などを取りまとめましたので、皆さまの参考としていただき、当会へのご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

当会は、昭和23年の設立以来、J Aと共に地域に密着し、山口県の豊かな自然と農業を守り育むことを通じて、地域経済や産業の発展に貢献する地域金融機関を目指した事業を展開してまいりました。

これからも、J Aグループの一員として、また地域金融機関として、良質で高度な金融サービスを提供することにより、会員J Aはもとより、J A組合員および地域の皆さまの負託にお応えすべく、役職員一丸となって邁進する所存でございます。

今後とも一層のご支援・お引き立てを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

◆社会的責任と 貢献活動

当会は、農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、J Aとの強い絆とネットワークを形成することによりJ A信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

1. 地域への資金供給について

当会の資金は、そのほとんどが県内のJ Aにお預けいただいた組合員および地域の皆さまの大切な財産である貯金を原資としています。その資金をもとに、農業基盤の拡充と発展を目的とした農業関連融資や、地域経済を支える地元企業の発展を支援するための融資を行っています。

2. 地域農業の振興への貢献

(1) 農業金融強化の取組み

本県農業を取巻く環境は、農業者の高齢化・後継者不足等による耕作放棄地の拡大や諸規制の緩和、および米価の低迷等により農業者の経営安定及び自立には厳しい状況が続いています。

こうした状況の中、担い手育成や意欲のある新規就農者の農業経営を支援するための資金として「担い手サポート資金」、設立5年を経過した集落型営農組織等の経営安定、規模拡大に必要な運転資金の融



資を目的とする「農業法人等サポート資金」を創設しています。

また、J Aバンク利子助成事業では、平成23年度までの4資金（農業経営ローン、農機ハウスローン、農業経営改善促進資金、農業法人等サポート資金）に加え、平成24年度は農業近代化資金を対象とし、融資を受ける農業者等に対して借入負担の軽減を図っています。

なお、当会においてJ Aと連携して農業法人・農業関連企業の規模・経営拡大等の支援を目的とする「信連農業法人向け貸出」「信連農業関連企業貸出」の2資金を創設し、普及に努めています。

また、中央会が開催する「担い手支援対策会議」に参加し、情報収集・意見交換等を行っています。

(2) メイン強化先への対応

県内J Aにおいては、農業者・農業法人に対する金融サービスを中心に十全な対応を行い、特に将来的な地域農業の担い手となりうる農業者等を「メイン強化先」と位置付け、信用部門・営農経済部門等とのJ A内連携により資金ニーズの把握、サービスの提供・相談業務を行っています。

3. 地域密着型金融について

(1) J Aバンク山口地産・地消応援定積キャンペーンの実施

平成24年10月1日～12月28日までの間、J Aグループ“みんなのよい食プロジェクト”「J Aバンク山口地産・地消応援定積キャンペーン」を実施しています。

期間中にご契約いただきました方に、県内J Aの特産品をプレゼントしています。

(2) やまぐち子育て家庭応援事業への協賛

安心して子どもを産み、喜びを感じながら子育てができるよう、子どもや子育て家庭を社会全体で応援していくため、山口県が取組む応援優待事業に県内J Aが協賛事業所として加盟しており、18歳以下のお子様がいらっしゃる個人の方を対象とした、子育て支援定期積金「のびすく定期積金」を取り扱い、お子様の人数に応じて定期積金の店頭表示金利に金利上乗せをしています。

(3) J Aバンク山口「子ども絵画コンクール」の実施

子ども達が本コンクールを通じて、家族の大切さを思い、家族の絆を描くことにより、より豊かな心を育てることに貢献するとともに、J Aと地域住民とのコミュニケーションを更に深めることを目的に、平成23年度よりJ Aバンク山口「子ども絵画コンクール」を実施しています。

今年度は、総数2,515枚で昨年より861枚も多くの方から応募をいただき、県知事賞をはじめとした各賞について表彰式を行いました。

また、応募作品数1枚について100円の義援金を東日本大震災でご家族を亡くされた遺児の支援活動団体に対して寄附することとしています。



(4) J Aバンクアグリサポート事業

① J Aバンク食農教育応援事業

・教材本贈呈事業

社会貢献活動の一環として、次世代を担う子どもたちに向け、農業に対する理解深耕のための教材本を作成し、県内のJ Aから地元小学校および特別支援学校に配布しています。

・教育活動助成事業

J Aが独自に実施する子ども向けの食農教育に関わる諸活動に対し、全国の枠組みから費用助成を行っています。

② J Aバンク新規就農応援事業

新規就農者向けに研修を行う農家・団体に対し、金銭面の助成を行っています。

4. 金融円滑化への取組み

金融円滑化については、地域金融機関として、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客様に対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を最も重要な役割のひとつとして位置づけ、適切な業務の遂行に取り組んでいます。



半期開示

◆主要勘定の状況

(単位：百万円)

	平成24年9月末	平成24年3月末	平成23年9月末
貯金	882,806	871,557	877,915
貸出金	99,159	99,765	102,996
預け金	556,244	545,019	540,241
有価証券	251,481	249,439	253,985

(注) 貯金には、譲渡性貯金を含んでいます。

◆損益の状況

(単位：百万円)

	平成24年度半期	平成23年度半期	平成23年度
経常利益	1,568	1,841	2,682
当期剰余金	1,535	2,068	2,561

◆自己資本比率

平成24年9月末	平成24年3月末
26.18%	25.46%

- (注) 1. 平成18年3月28日金融庁・農林水産省告示第2号「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」に基づき算出しています。
 2. 9月末の自己資本の額は、半期利益を前年度次期繰越剰余金に加算し、外部流出予定額を控除していません。
 3. 9月末のオペレーショナル・リスク相当額は、直近決算期（平成24年3月末）の値を採用しています。

◆金融再生法 開示債権

(単位：百万円)

債権区分	平成24年9月末	平成24年3月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	224	296	△72
危険債権	5,714	5,789	△75
要管理債権	321	328	△7
正常債権	94,939	95,682	△742
合計	101,199	102,096	△897

- (注) 1. 9月末の計数は、半期自己査定結果に基づき算出しています。
 2. 上記の債権区分は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」（平成10年法律第132号）第6条に基づき、貸借対照表の貸出金及びその他資産中の未収利息及び仮払金並びに支払承諾見返（債務保証見返）について、債務者の財産状態及び経営成績等を基礎として、次のとおり区分したものです。
 (1) 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
 破産手続開始、更正手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
 (2) 危険債権
 債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権をいいます。
 (3) 要管理債権
 3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権をいいます。
 (4) 正常債権
 債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がなく、上記(1)から(3)までに掲げる債権に該当しない債権をいいます。



◆有価証券等 時価情報

【有価証券】

(単位：百万円)

種 類	平成24年9月末			平成24年3月末		
	取得価額	時 価	評価損益	取得価額	時 価	評価損益
売 買 目 的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
そ の 他	246,319	251,481	5,161	241,725	249,439	7,713
合 計	246,319	251,481	5,161	241,725	249,439	7,713

(注) 1. 取得価額は、取得価額または償却原価法・減損会計適用後の帳簿価額です。
2. 時価は、期末日における市場価額等に基づく時価です。

【金銭の信託】

(単位：百万円)

種 類	平成24年9月末			平成24年3月末		
	取得価額	時 価	評価損益	取得価額	時 価	評価損益
運 用 目 的	3,737	3,716	△20	3,721	3,712	△9
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
そ の 他	4,082	3,639	△443	4,050	3,629	△420
合 計	7,820	7,355	△464	7,771	7,341	△429

(注) 1. 取得価額には、信託元本を記載しています。
2. 時価は、期末日における市場価格等に基づく時価です。